デジタルワイヤレススピーカーシステム

# XW-HT1

## インターネットによる登録のお願い

**http://www3.pioneer.co.jp/**

お買い上げの製品について、上記URL「お客様のページ」でお客様登録をお願いします。

この「お客様のページ」は、お客様とのコミュニケーションを目的としたウェブサイトです。新規登録されたお客様にはID・パスワードを発行させていただき、新製品のカタログや取扱説明書のダウンロード、メールマガジンの購読など各種サービスをご利用いただけます。

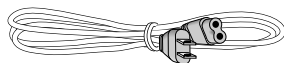
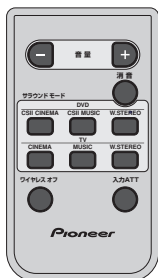
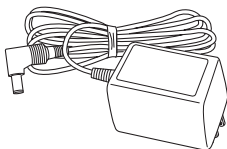
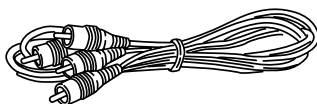
# 取扱説明書

# 付属品の確認

● リモコン× 1

● リチウム電池（CR2025）× 1

● AC アダプター× 1

● 電源コード× 1

● オーディオコード× 1

● コーションラベル
● 取扱説明書（本書）
● 保証書

# 電池の入れ方

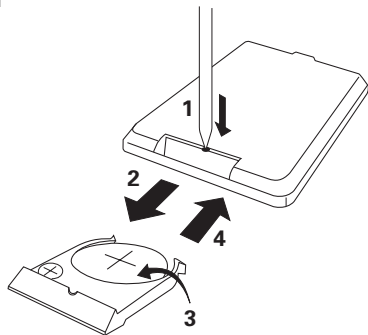
電池はリチウム電池（CR2025）を入れてください。

**1.** **この部分に鉛筆などを入れ下方向（下図の矢印方向）に押します。**

**2.** **手順 1 の状態で、電池ホルダーを引き出します。**

**3.** **リチウム電池を⊕、⊖正しく入れます。**

⊕側が、ホルダーの上面になるように入れます。

**4.** **電池ホルダーをはめ込みます。**

## ⚠ 警告

**リチウム電池について**

- 幼児の手の届かない所に置いてください。
- 万一飲み込んだ場合にはただちに医師と相談してください。
- 分解、火に投入、充電、加熱、ハンダ付け、ショートはしないでください。

## 注 意

**リチウム電池を誤って使用すると液漏れや破裂などの危険があります。次の点についてご注意ください。（リチウム電池の注意事項も必ずご覧ください。）**

◆ リチウム電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを電池ケースの表示どおりに正しく入れてください。

◆ 不要となったリチウム電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

◆ 長い間（1 か月以上）使用しないときはリチウム電池の液漏れを防ぐためにリチウム電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しいリチウム電池を入れてください。

◆ 電池ホルダーを逆にはめ込むと破損の原因となりますので、くれぐれも注意してください。

# 目次

# 安全上のご注意

●安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
●ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

## 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

## 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例

△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⊘ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

● トランスミッターへの電源の供給を完全に停止するためには、AC アダプター（遮断装置）を抜く必要があります。万一の事故に備え、トランスミッターのACアダプター（遮断装置）に容易に手が届くように設置してください。

## ⚠ 警告

### 異常時の処置

プラグを抜け

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜け

● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

## 設置

プラグを抜け

- 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

禁止

- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

禁止

- 放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、またラックに入れる時はすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

→あおむけや横倒し、逆さまにする。
→押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
→じゅうたんやふとんの上に置く。
→テーブルクロスなどをかける。

禁止

- 着脱式の電源コード(インレットタイプ)が付属している場合のご注意：付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

禁止

- 本機に付属以外のACアダプターを使用することは絶対にやめてください。火災・感電の原因となります。

## 使用環境

水ぬれ禁止

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

風呂場・シャワー室での使用禁止

- 風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

100V以外禁止

- 表示された電源電圧(交流100ボルト50/60 Hz)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

禁止

- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

## 使用方法

水ぬれ禁止

- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物をおかないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

ぬれ手禁止

- ぬれた手で(電源)プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

禁止

- 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

分解禁止

- 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

禁止

- 電源コードやACアダプターを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店に交換をご依頼ください。

接触禁止

- 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

## ⚠ 注意

### 設置

必ず行う

- 電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

禁止

- 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

禁止

- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

禁止

- 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

注意

- テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

注意

- 電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

禁止

- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

禁止

- 本機の上にテレビを置かないでください。放熱や通風が妨げられて、火災や故障の原因となることがあります。(取扱説明書でテレビの設置を認めている機器は除きます。)

禁止

- 電源プラグを抜く時は、電源コードやACアダプターを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

禁止

- 電源コードやACアダプターを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

プラグを抜け

- 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

禁止

- 本機の上にテレビやオーディオ機器を載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。重い場合は、持ち運びは2人以上で行ってください。

禁止

- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

### 使用方法

禁止

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

プラグを抜け

- 旅行などで長期間、ご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 電池

● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 電池を機器内に挿入する場合、極性表示(プラス(+)マイナス(−)の向き)に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 長時間使用しない時は、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また万一、もれた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。

● 電池は加熱したり分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

## 保守・点検

● 5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

● お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要さない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(たとえば、パーティションの設置など)についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

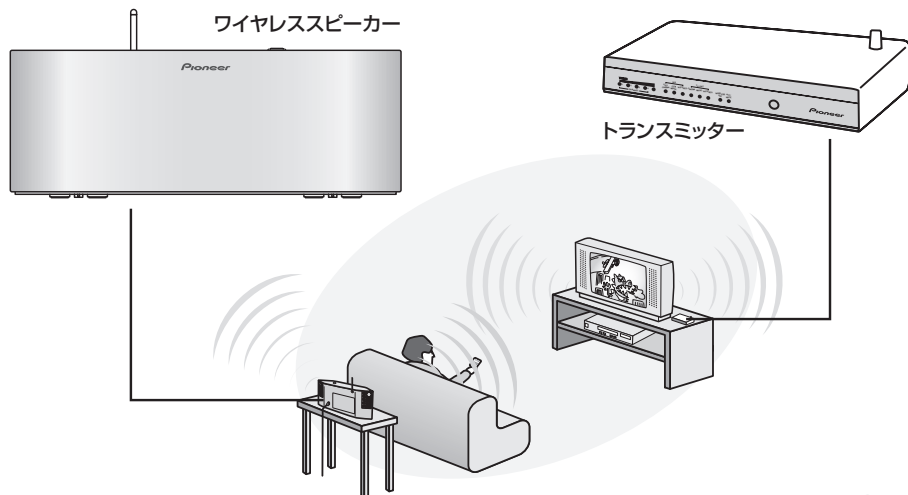
**連絡先)カスタマーサポートセンター:0070-800-8181-22**

*http://www.pioneer.co.jp/support/*

# 本機の特長

## 1.　テレビだけでは味わえない本格サラウンドを簡単に実現

DVD入力

テレビとDVDプレーヤーの間にトランスミッターを接続するだけで、フロント音声はテレビのスピーカーから、リア音声はワイヤレススピーカーから出力され、簡単に臨場感あふれるサラウンド効果を楽しむことができます。（14ページ）

## 2.　SRS社開発のSRS Circle Surround II *1 を搭載

DVD入力

SRS Labs, Inc.が開発したマルチチャンネルサラウンド技術「SRS Circle Surround II」により、通常のステレオ音声から、リア音声を創出。5.1chサラウンドシステムさながらの音の移動感や臨場感を楽しむことができます。
また、SRS Circle Surround II技術を使用することで、セリフやボーカルをより明瞭にしたり、豊かな重低音を出力することができます。これにより、通常テレビから出力される音声と異なったクオリティの高い音場を実現しました。

*1 SRS Circle Surround II は SRS Labs,Inc. の商標です。

*Circle Surround II 技術は SRS Labs,Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。*

## 3.　2.4GHz デジタル伝送による ハイクオリティなサウンドの実現

本機は2.4GHzデジタル非圧縮伝送方式を採用しております。
これにより、デジタル伝送というハイクオリティの実現とともに、音声信号を圧縮せずに伝送することで、CDソフト同等のサウンドを楽しむことができます。

## 4.　３種類のサラウンドモードを搭載

DVD入力　TV入力

映画DVDソフト、ライブDVDソフトや音楽CDなど、収録されている内容がより楽しめるように、DVD入力、TV入力の各ファンクションに対し、３種類のサラウンドモードが設定できます。

DVD入力 : CS II CINEMA/CS II MUSIC/W.STEREO
TV入力 : CINEMA/MUSIC/W.STEREO

サラウンドモード設定は､リモコンにある各モード名のボタンを押すだけでダイレクトに設定することができます。（13、18ページ）

*W.STEREOモードは、SRS Labs,Inc.のFOCUS及びTruBass技術を使用しています。*

## 5.　他機器とも接続でき、気軽にリアサラウンドが楽しめます。

TV入力

DVDプレーヤー以外の外部機器とも接続できます。たとえばテレビの音声出力を本機のトランスミッターに接続すると､テレビの音声をワイヤレススピーカーからリア出力することでサラウンド音声をお楽しみいただくことができます。また、テレビ以外の機器では、ミニコンポーネントもお勧めです。簡単にリアサラウンドが実現でき、コンサートホールにいるような雰囲気を味わうことができます。（16ページ）
重低音を強調したいという方には、お手持ちのサブウーファーを接続できる端子も装備しました。サブウーファーのご使用で､5.1chサラウンドシステムに負けない臨場感､迫力の重低音を実現します。

## 本文中の表記について

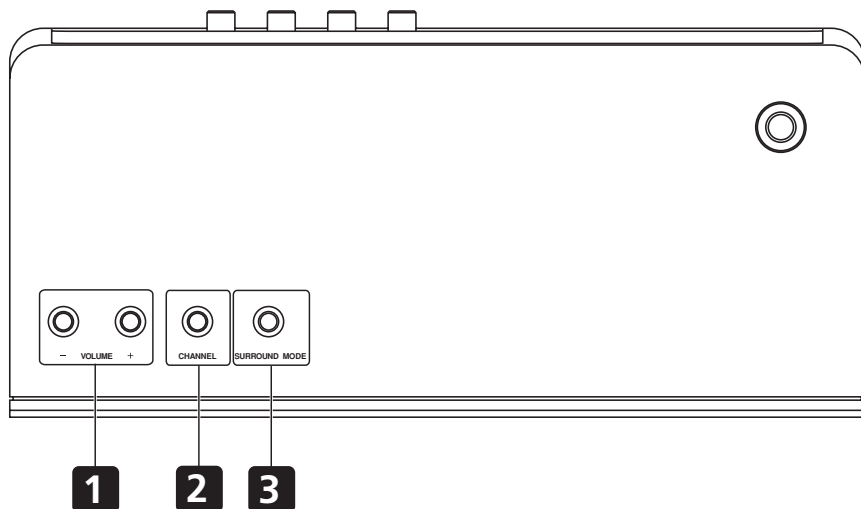
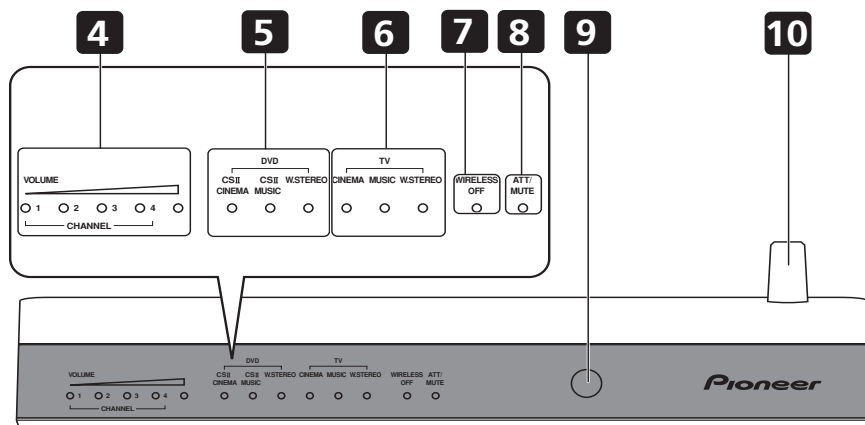
この取扱説明書では本文中に記号が記載されています。記号には次のような意味があります。

DVD入力　DVDプレーヤーからの入力時のみ対応となります。

TV入力　テレビまたはミニコンポーネントなどからの入力時のみ対応となります。

# 各部の名称とはたらき

## トランスミッター

### 上面部

### 表示部 / 前面部

**1** VOLUMEボタン

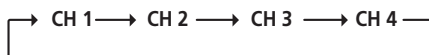
ワイヤレススピーカーの音量を調節します。

**メモ**

▼ サブウーファーを接続しているときはサブウーファーの音量も調整できます。

**2** チャンネル選択ボタン

ワイヤレススピーカーへ送信する信号を４つの周波数チャンネルから選択します。ワイヤレススピーカーの受信状態が良くないときは、周波数チャンネルを変えることで受信状態が良くなることがあります。押すたびに以下のように切り換わります。

→ CH 1 → CH 2 → CH 3 → CH 4 →（CH 1に戻る）

**3** SURROUND MODEボタン

サラウンドモードを設定します。

（18、19ページ）

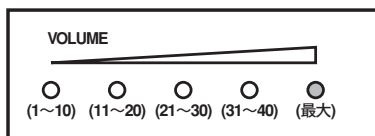
**メモ**

▼ サラウンドモードはファンクションも兼ねているので、モードに合わせてファンクションも切り換わります。

**4** CHANNELインジケーター

チャンネルを切り換えるとそのチャンネルが５秒間点滅します。

**VOLUMEインジケーター**

ワイヤレススピーカーの音量を表します。ワイヤレススピーカーの音量を大きくまたは小さくするごとに点滅します。

10ステップごとに1段階上がります。最大になったときは5つめが赤点灯します。

**メモ**

▼ CHANNEL インジケーターと VOLUME インジケーターは兼用しています。通常は VOLUME インジケーターとなりますが、チャンネル切り換え後５秒間は CHANNEL インジケーターとなります。

▼ ワイヤレスオフモードを設定しているときは消灯します。このとき音量を調節することはできません。

**5** CS II CINEMA/CS II MUSIC /W.STEREOインジケーター

DVD 入力のサラウンドモードが設定されていると点灯します。

**6** CINEMA/MUSIC/W.STEREO インジケーター

TV 入力のサラウンドモードが設定されていると点灯します。

**7** WIRELESS OFFインジケーター

ワイヤレスオフモードが設定されていると点灯します。

**8** ATT/MUTEインジケーター

アッテネーターがオンのとき点灯します。また、音を一時的に消している（ミュートする）とき点滅します。

**9** リモコン受光部

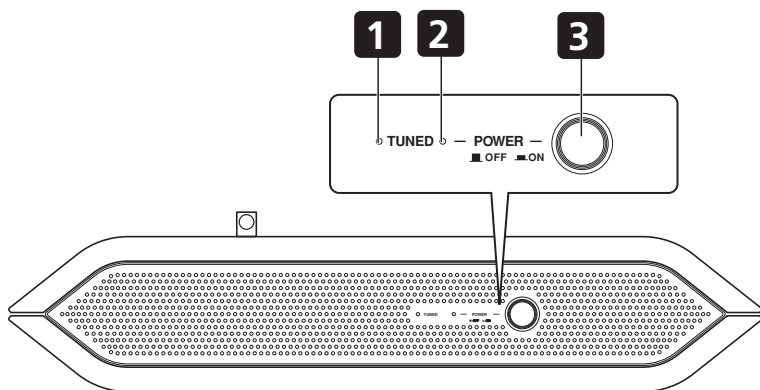
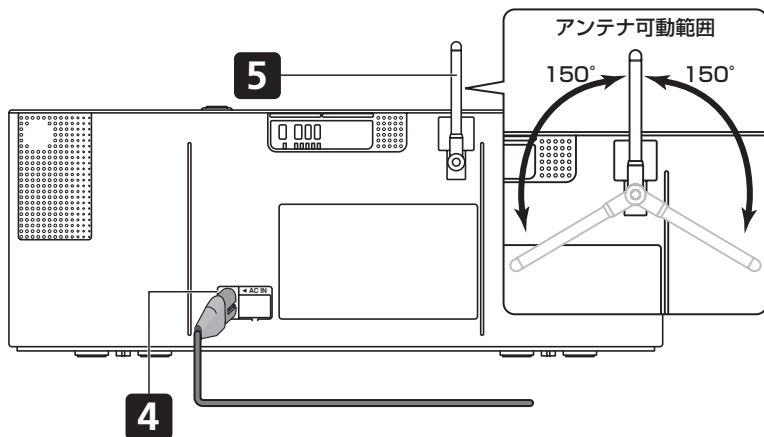
- リモコン操作範囲は正面約 7m、左右 30°以内で操作してください。
- 直射日光や蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えるか、蛍光灯から離してください。

**10** アンテナ

ワイヤレススピーカーへ音声信号を送信します。

## ワイヤレススピーカー

### 上面部

### 後面部

**1 TUNEDインジケーター**

トランスミッターからの信号を受信しているときに点灯します。

**2 POWERインジケーター**

ワイヤレススピーカーの電源をオンにしているときに点灯します。

**3 電源ボタン**

ワイヤレススピーカーの電源をオン / オフします。

**4 ACインレット**

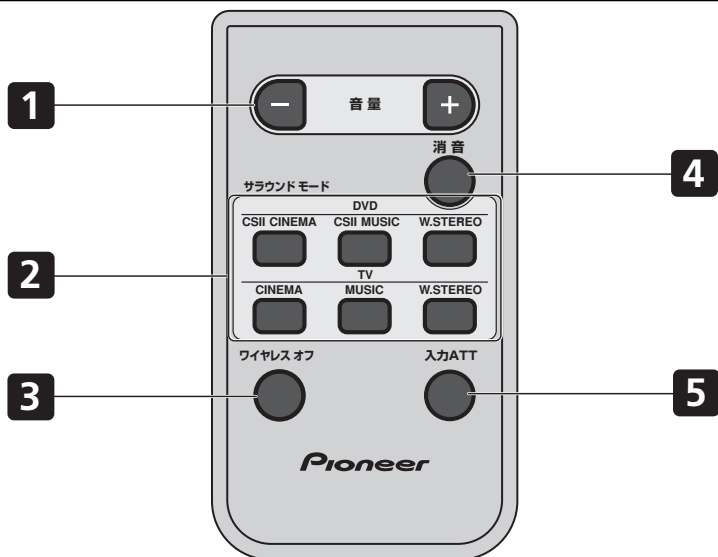
付属の電源コードを差し込みます。

**5 アンテナ**

トランスミッターからの音声信号を受信します。

**注 意**

◆ アンテナは上記のアンテナ可動範囲を超えて回しすぎると破損の原因となりますので、ご注意ください。

## リモコン

**1 音量ボタン**

ワイヤレススピーカーの音量を調節します。

**2 サラウンドモードボタン**

［DVD入力］（18ページ）

CS II CINEMAモードボタン

CS II MUSICモードボタン

W.STEREOモードボタン

［TV入力］（18ページ）

CINEMAモードボタン

MUSICモードボタン

W.STEREOモードボタン

**3 ワイヤレスオフボタン**

ワイヤレススピーカーを使用しないときに押します。テレビまたはミニコンポーネントなどからの音声だけでお楽しみいただけます。再びサラウンド音声を楽しむときは、2のサラウンドモードボタンを押します。

**メ モ**

▼ 自動的に DVD 入力に切り換わります。

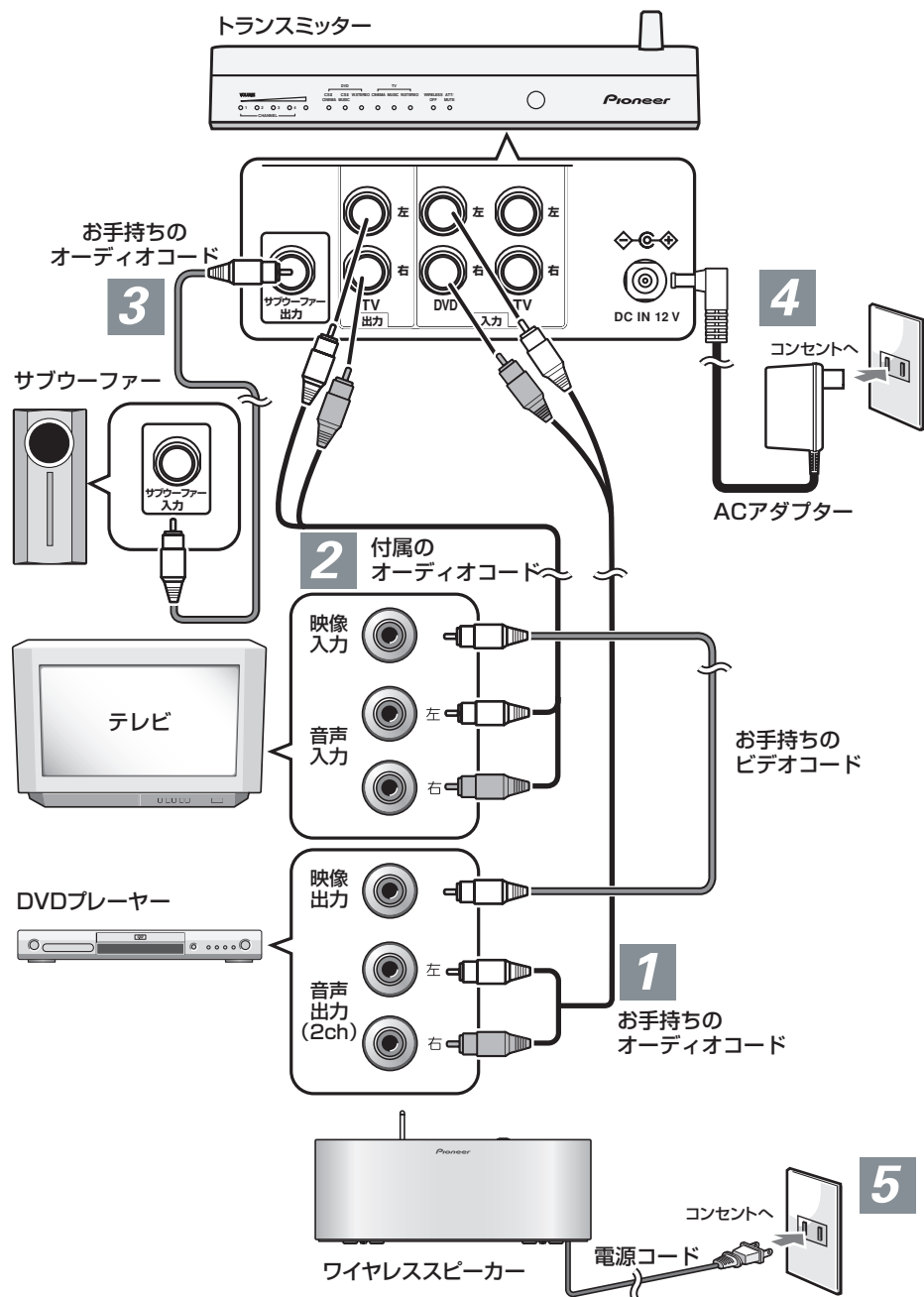
**4 消音ボタン**

音を一時的に消す（ミュートする）ときに押します。もう一度押すとミュートは解除され、音を消す前の音量に戻ります。TV入力の場合はワイヤレススピーカーのみ音を消します。

**5 入力ATTボタン**

入力信号が大きすぎて、スピーカーから出る音に歪みが生じてしまう場合に押すと、その入力信号の大きさをアッテネート（減衰）します。もう一度押すと、もとの入力信号の大きさに戻ります。

**メ モ**

▼ DVD 入力、TV 入力ごとに設定できます。

# DVD プレーヤーとの接続

- 接続を行う場合､あるいは変更を行う場合には､必ず電源コードやACアダプターを抜いてください。また電源コードやACアダプターはすべての接続が終わってから壁のコンセントへ接続してください。

### 1 DVDプレーヤーとトランスミッターを接続します

お手持ちのオーディオコード（赤と白のプラグ）をDVDプレーヤーの2ch音声出力端子に接続します。次に、オーディオコード（赤と白のプラグ）の反対側をトランスミッターのDVD入力端子に接続します。

### 2 テレビとトランスミッターを接続します

付属のオーディオコード（赤と白のプラグ）をテレビの音声入力端子に接続します。次に、オーディオコード（赤と白のプラグ）の反対側をトランスミッターのTV出力端子に接続します。

## お手持ちのサブウーファーを接続する場合

### 3 サブウーファーと接続します

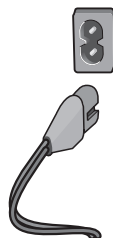
お手持ちのオーディオコードをトランスミッターのサブウーファー出力端子に接続します。次にオーディオコードの反対側をサブウーファーの入力端子に接続します。

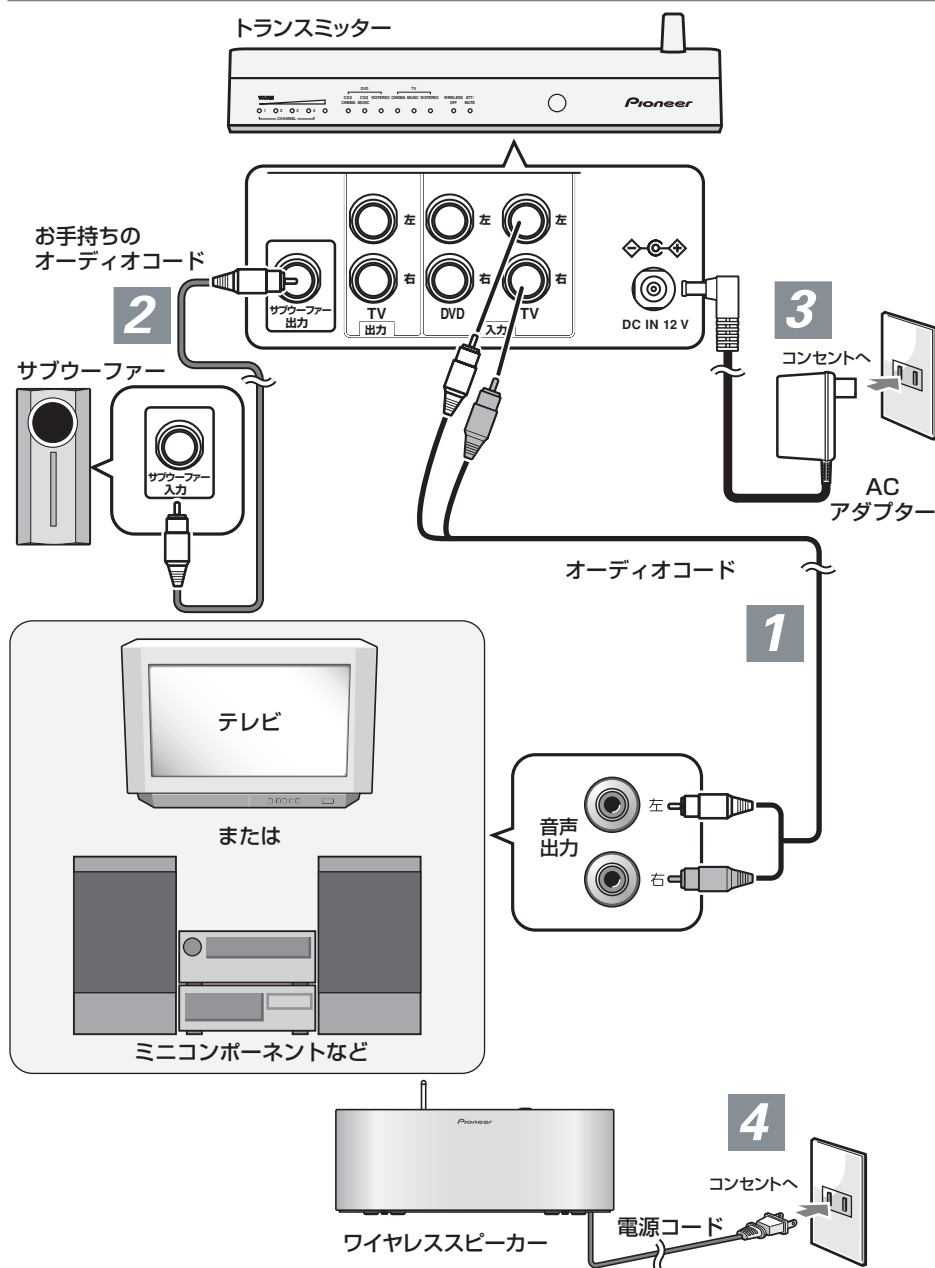
### 4 ACアダプターをトランスミッターと壁のコンセントに差し込みます

ACアダプターをトランスミッターのDC電源入力端子に接続してから壁のコンセントへ接続します。

### 5 電源コードをワイヤレススピーカーと壁のコンセントに差し込みます

電源コードをワイヤレススピーカーのACインレット(AC IN)に差し込みます。次に電源コードのプラグ部を壁のコンセントに接続します。

### メモ

- ▼ サブウーファーとの接続はより重低音を強調したい場合の接続です｡お持ちでなくてもサラウンド音声をお楽しみいただくことができます。
- ▼ サブウーファーとの接続については、サブウーファーに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

# テレビやミニコンポーネントなどとの接続

トランスミッター

お手持ちの
オーディオコード

2

サブウーファー出力

TV
出力

DVD

TV
入力

左
右

DC IN 12 V

3

コンセントへ

AC
アダプター

サブウーファー

サブウーファー入力

オーディオコード

1

テレビ

または

ミニコンポーネントなど

音声
出力

左
右

4

コンセントへ

電源コード

ワイヤレススピーカー

- 接続を行う場合､あるいは変更を行う場合には､必ず電源コードやACアダプターを抜いてください。また電源コードやACアダプターはすべての接続が終わってから壁のコンセントへ接続してください。

### 1 テレビまたはミニコンポーネントなどとトランスミッターを接続します

オーディオコード（赤と白のプラグ）をテレビまたはミニコンポーネントなどの音声出力端子に接続します。次に、オーディオコード（赤と白のプラグ）の反対側をトランスミッターのTV入力端子に接続します。

## お手持ちのサブウーファーを接続する場合

### 2 サブウーファーと接続します

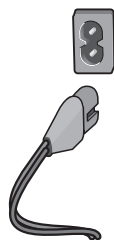
お手持ちのオーディオコードをトランスミッターのサブウーファー出力端子に接続します。次にオーディオコードの反対側をサブウーファーの入力端子に接続します。

### 3 ACアダプターをトランスミッターと壁のコンセントに差し込みます

ACアダプターをトランスミッターのDC電源入力端子に接続してから壁のコンセントへ接続します。

### 4 電源コードをワイヤレススピーカーと壁のコンセントに差し込みます

電源コードをワイヤレススピーカーのACインレット(AC IN)に差し込みます。次に電源コードのプラグ部を壁のコンセントに接続します。

### メモ

- ▼ サブウーファーとの接続はより重低音を強調したい場合の接続です｡お持ちでなくてもサラウンド音声をお楽しみいただくことができます。
- ▼ サブウーファーとの接続については、サブウーファーに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ▼ TV入力の場合､TV出力端子からは音声が出力されません。

# 音場設定

サラウンドモードは以下の中から選びます。ソフトのジャンルに合わせて選択してください。

## のときに選択できるサラウンドモード

● **CS II CINEMA**

映画再生に適したモードです。SRS Circle Surround II 技術の効果でセリフを明瞭にすると共に、セリフをしっかりとフロントに定位させながら、サラウンドの音場を創り出します。

● **CS II MUSIC**

音楽再生に適したモードです。SRS Circle Surround II 技術の効果でライブ DVD ソフトなどからサラウンドの音場を創り出します。

● **W.STEREO**（ワイヤレスステレオ）

ワイヤレススピーカーをステレオスピーカーとして使用するときに選択します。DVDの音声をそのままワイヤレススピーカーから出力します。

**TV入力**

## のときに選択できるサラウンドモード

● **CINEMA**

映画に適したモードです。映画館にいるような雰囲気を味わうことができます。

**注 意**

◆ TV 番組が映画などの二か国語放送の場合、モノラル信号になり、ワイヤレススピーカーから音声が出力されません。このようなときはMUSICまたはW.STEREOに切り換えてください。（19 ページ）

● **MUSIC**

音楽に適したモードです。ライブの臨場感やコンサートホールにいるような雰囲気を味わうことができます。

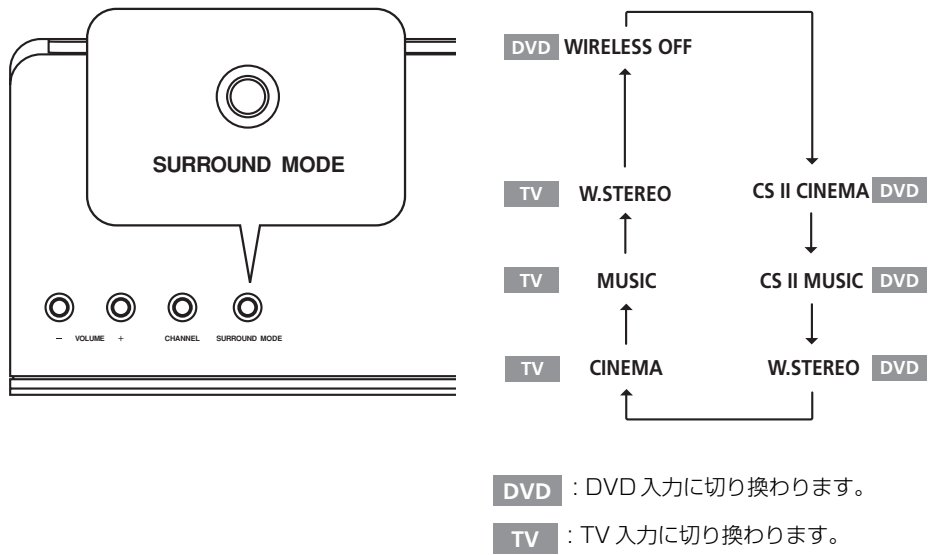
● **W.STEREO**（ワイヤレスステレオ）

ワイヤレススピーカーをステレオスピーカーとして使用するときに選択します。テレビまたはミニコンポーネントなどの音声をそのままワイヤレススピーカーから出力します。

サラウンドモードはトランスミッターのSURROUND MODEボタンでも設定することができます。ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

DVD ：DVD 入力に切り換わります。

TV ：TV 入力に切り換わります。

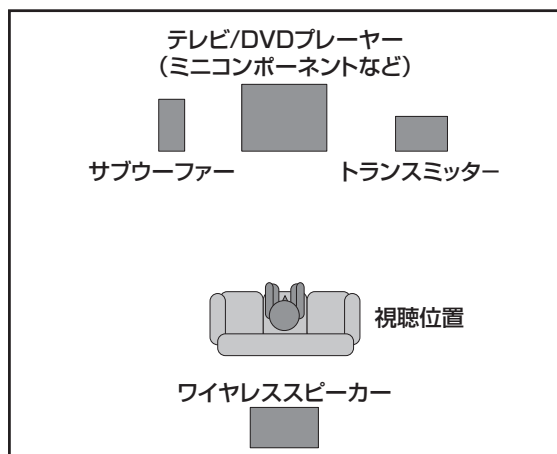
設定

## 注 意

◆ 入力信号がステレオ放送とモノラル放送では、対応しているサラウンドモードが異なります。**モノラル信号の場合は、サラウンドモードによってワイヤレススピーカーから音声が出力されない場合があります。**以下の表を参照して、サラウンドモードを設定してください。たとえば、映画の二か国放送はモノラル信号になります。また、ニュース、スポーツ、ドラマなどもモノラル放送があります。

×：音が出ない
○：音が出る

| | サラウンドモード | ステレオ信号 | モノラル信号 |
|---|---|---|---|
| DVD入力 | CS II CINEMA | ○ | × |
| | CS II MUSIC | ○ | × |
| | W.STEREO | ○ | ○ |
| TV入力 | CINEMA | ○ | × |
| | MUSIC | ○ | ○ |
| | W.STEREO | ○ | ○ |

# 設置方法

下図を参照して設置してください。

## メ モ

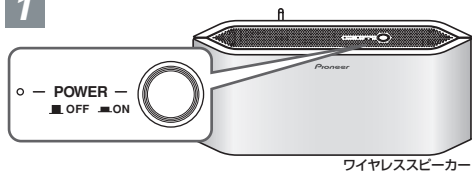
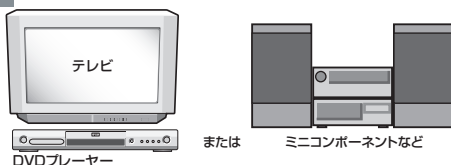
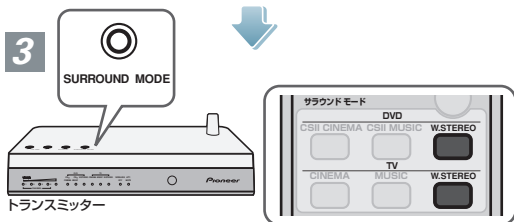
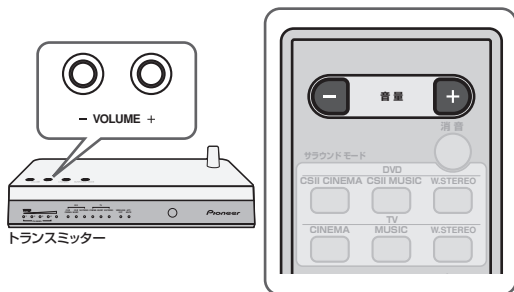
▼ ワイヤレススピーカーを視聴位置（リスニングポジション）から極端に離して設置すると、サラウンド効果が十分に発揮されません。
▼ ワイヤレススピーカーは視聴位置（リスニングポジション）の真後ろ（中央）に設置してください。また、ワイヤレススピーカーは耳の高さよりも下に設置することをお勧めします。耳の高さより上に設置すると、サラウンド効果が十分に発揮されないことがあります。

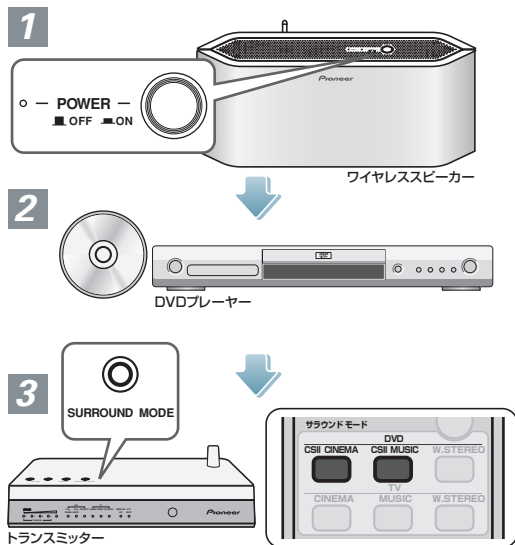
## 注 意

◆ 使用中に電波の状態によって、音が途切れたり出なくなったりすることがありますが故障ではありません。トランスミッターまたはワイヤレススピーカーの位置や方向を変えてみてください。
◆ トランスミッターとワイヤレススピーカーの距離は約10mまで使用可能です。この距離は使用環境により異なりますので、10mを保証するものではありません。
◆ トランスミッターとワイヤレススピーカーが近すぎると受信状態が不安定になる場合があります。このような場合には、トランスミッターとワイヤレススピーカーを1m以上離してお使いください。
◆ トランスミッターとワイヤレススピーカーの間に障害物（金属製のドアやコンクリート壁、アルミ箔入りの断熱材など）があると、電波を遮ってしまい音が出なくなるときがあります。その場合はトランスミッターとワイヤレススピーカーを互いに見通しの良い場所に設置してください。

# ワイヤレスサラウンドを楽しむ

## 音量を調整する

**1** ワイヤレススピーカーの電源ボタンをオンにします

**2** DVD プレーヤー（またはテレビ/ミニコンポーネントなど)を再生します

**3** サラウンドモードをW.STEREOに切り換えます
（18、19ページ)

**4** ワイヤレススピーカーの音量をDVD プレーヤー（またはテレビ/ミニコンポーネントなど)の音量と同じくらいになるように調整します

## DVD 入力でサラウンドを楽しむ

### 1 ワイヤレススピーカーの電源ボタンをオンにします

### 2 DVD プレーヤーを再生します

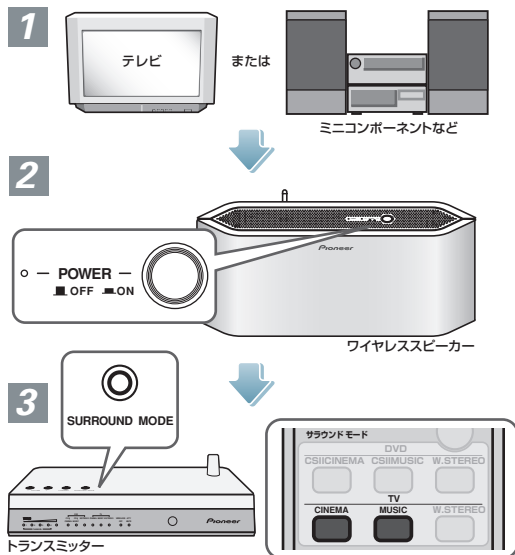
詳しくはDVD プレーヤーの取扱説明書を参照してください。

### 3 サラウンドモードをCS II CINEMAまたはCS II MUSICにします（18、19ページ）

お好みに合わせてワイヤレススピーカーの音量を調整してください。

**注 意**

◆ DVD がモノラル音声のときはワイヤレススピーカーからは音が出ません。（19 ページ）

## TV 入力でサラウンドを楽しむ

### 1 テレビまたはミニコンポーネントなどの電源をオンにします

### 2 ワイヤレススピーカーの電源ボタンをオンにします

### 3 サラウンドモードを CINEMA または MUSIC にします（18、19ページ）

お好みに合わせてワイヤレススピーカーの音量を調整してください。

**注 意**

◆ モノラル放送の場合は、サラウンドモードが CINEMA に設定されていると音が出ません。MUSIC に設定してください。（19 ページ）

# 使用上のご注意

## 電波に関するご注意

● 本機は盗聴防止機能を搭載しておりますが、傍受(無線通信内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信すること)にご注意ください。本機は電波を使用している関係上、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。機密を要する重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

● 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本機は日本国内のみで使用できます。

本機は、2.4 GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、下記①に示すようにいろいろな機器が使用しています。また、お客様に存在がわかりにくい機器として下記②に示すような機器もあります。

① 2.4 GHz を使用する主な機器の例

- コードレスフォン
- 電子レンジ
- 無線ルーター
- ワイヤレス AV 機器
- ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- マイクロ波治療機器類
- Bluetooth 対応機器

② 存在がわかりにくい2.4 GHzを使用する主な機器の例

- 万引き防止システム
- アマチュア無線局
- 工場や倉庫などの物流管理システム
- 鉄道車両や緊急車両の識別システム

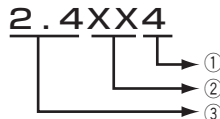
これらの機器と本システムを同時に使用すると、電波の干渉により、音が途切れて雑音のように聞こえたり、音が出なくなることがあります。このようなときは、本機のTUNEDインジケーターが点滅または消灯しますが、電波干渉によるもので本機の故障ではありません。
受信状況の改善方法としては次のような方法があります。

- 電波を発生している相手機器の電源を切る
- 干渉している機器の距離を離して設置する
- トランスミッターのチャンネル選択ボタンで干渉されない他のチャンネルを選択する

次の場所では本機を使用しないでください。ノイズが出たり、送信/受信ができなくなる場合があります

- 同じ周波数帯(2.4 GHz)を利用する無線通信機器であるBluetooth、無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。(環境により電波が届かない場合があります)
- ラジオから離してお使いください。(ノイズが出る場合があります)
- テレビにノイズが出た場合、トランスミッターがテレビ、ビデオ、BSチューナー、CSチューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。トランスミッターをアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

● 本機は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

- 分解 / 改造すること。
- 本機にはってある証明ラベルをはがすこと。

①「4」 想定される与干渉距離(約40m)を表します
②「XX」 変調方式を表します
③「2.4」 GHz帯を使用する無線設備を表します

● 本機の使用する周波数帯域(2.4GHz)では、無線通信機器であるBluetooth、無線LAN、また電子レンジなどの機器の他、工場、製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する)及び、特定小電力無線局が同じように利用して運用されています。

本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波障害の事例が発生した場合、すみやかにその場での本機の使用を中断してください。

## 使用範囲について

● ご家庭内での使用に限ります。
(通信の環境により伝送距離が短くなることがあります)

次のような場合、電波状態が悪くなったり電波が届かなくなることが原因で、音声が途切れたり停止したりします

- 鉄筋コンクリートや金属の使われている壁や床を通して使用する場合。
- 大型の金属製家具の近くなど。
- 人混みの中や、建物障害物の近くなど。
- 同じ周波数帯（2.4GHz）を利用する無線通信機器であるBluetooth、無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。
- 集合住宅（アパート・マンションなど）にお住まいで、お隣で使用している電子レンジ設置場所が本機に近い場合。なお、電子レンジは、使用していなければ電波干渉はおこりません。

## 電波の反射について

● ワイヤレススピーカーに届く電波には、トランスミッターから直接届く電波（直接波）と、壁や家具、建物などに反射してさまざまな方向から届く電波（反射波）があります。これにより、障害物と反射物とのさまざまな反射波が発生し、電波状態の良い位置と悪い位置が生じ、音声がうまく受信できなくなることがあります。このようなときは、ワイヤレススピーカーの場所を少し動かしてみてください。トランスミッターとワイヤレススピーカーの間を人間が横切ったり、近づいたりすることによっても、反射波の影響で音声が途切れたりすることがあります。

## 注 意

◆ お客さま、または第三者使用によるこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## 安全にお使いいただくために

● 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しないでください。
電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。

ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。
ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

● 航空機器や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。
電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関の指示に従ってください。

本製品は家庭用オーディオ機器（オーディオ・ビデオ機器）です。下記の注意事項を守ってご使用ください。

1. 一般家庭用以外での使用（例：店舗などにおけるBGMを目的とした長時間使用、車両・船舶への搭載、屋外での使用など）はしないでください。
2. 音楽信号の再生を目的として設計されていますので、測定器の信号（連続波）などの増幅用には使用しないでください。
3. ハウリングで製品が故障する恐れがありますので、マイクロフォンを接続する場合はマイクロフォンをスピーカーに向けたり、音が歪むような大音量では使用しないでください。
4. スピーカーの許容入力を超えるような大音量で再生しないでください。

S26_Ja

# 故障かな？と思ったら

意外な操作ミスが故障と思われています。故障かな?と思ったら症状にあわせて下の項目をチェックしてください。

### 音声が途切れる

➡ 本機の使用する電波は、高い周波数を使用しているため、光と同じように直進、反射、屈折、回折、干渉等の性質をもっています。そのため、場所により電波の強弱が起こり、音声が止まったりすることがあります。設置場所を変えてみてください。

➡ トランスミッターとワイヤレススピーカーの距離が離れ過ぎていませんか？ 電波の届く範囲でご使用ください。

➡ 電気雑音の発生しやすいところで使用していませんか？設置場所を変えてみてください。

### 突然音声が途切れるようになった

➡ 近くに同じ周波数帯(2.4GHz)を利用する無線通信機器である、Bluetooth、無線LAN、コードレスフォン、ゲーム機のワイヤレスコントローラー、また電子レンジなどの機器が作動していませんか？設置場所を変えてみてください。

### 音声が受信できない

➡ 障害物と反射物の影響で電波状態の良い位置と悪い位置があります。トランスミッターまたはワイヤレススピーカーの場所を少し動かしてみてください。

➡ トランスミッターとワイヤレススピーカーは対になっており、お互いに識別しています。別に購入されたトランスミッターとワイヤレススピーカーでは通信できない仕組みになっています。

### トランスミッター周辺のテレビに横縞のノイズが出るときがある

➡ トランスミッター周辺にアンテナが取り付けられているAV機器がありませんか？トランスミッターをAV機器のアンテナ入力端子から遠ざけてください。

### ワイヤレススピーカーから音が出ない

➡ 正しく接続されていますか？もう一度接続を確認してください。（14～17ページ）

➡ ワイヤレススピーカーの電源がオフになっていませんか？電源ボタンを押して電源をオンにしてください。

➡ トランスミッターのACアダプターが抜けていませんか？トランスミッターを本体またはコンセントと正しく接続してください。（14～17ページ）

➡ 音場設定が合っていますか？リモコンのサラウンドモードボタン、またはトランスミッターのSURROUND MODEボタンを押して設定してください。（18、19ページ）

➡ **モノラル放送を再生していませんか？モノラル放送で設定できるサラウンドモードは限られています。サラウンドモードを設定し直してください。（19ページ）**

### 電源がオンまたは動作中に、電源が勝手にOFFになる

➡ 故障の可能性があります。お買い上げの販売店にご連絡ください。

# 保証とアフターサービス

## 保証書（別添）について

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

**保証期間はご購入日から1年間です。**

## 補修用性能部品の保有期間

ステレオの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理に関するご質問、ご相談

お買い上げの販売店へご依頼ください。また、ご転居されたりご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、裏表紙の修理受付センターにご相談ください。

## 修理を依頼されるとき

25ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
また、修理を依頼されるときは、トランスミッターとワイヤレススピーカーを2つ1組としてご依頼ください。

## 連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：
  デジタルワイヤレススピーカーシステム
- 型番：XW-HT1
- お買い上げ日
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

### ■ 保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

### ■ 保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

### ■ お願い：

修理のために本機をお持ち込みいただく際は、部分的な故障と思われる場合でもシステム全体での動作確認が必要となるため、全機器をお持ち込み願います。

# 仕様

## 一般

形式：デジタルワイヤレススピーカーシステム
（トランスミッター／ワイヤレススピーカー）

## トランスミッター

ACアダプター
電源 ........................ AC100V、50/60 Hz
定格 ................................................ 12.5 VA
定格出力 .................... DC12 V、500 mA
消費電力（本体のみ）................................. 7 W
入出力 .......................................... ピンジャック
質量 ........................................................ 0.6 kg
外形寸法 ................ 255 × 58.5 × 121 mm
（幅）×（高さ）×（奥行き）

## ワイヤレススピーカー

電源 ............................ AC100V、50/60 Hz
消費電力 .................................................. 30 W
アンプ
実用最大出力（JEITA）............. 10 W/Ch
（1kHz、THD 10 %、4 Ω）
スピーカーユニット .. 7 cm コーン型 × 2
質量 ........................................................ 2.9 kg
外形寸法 ............ 461.5 × 176.5 × 95 mm
（幅）×（高さ）×（奥行き）

- 高さはアンテナを倒した状態での寸法です。
- アンテナを含んだ奥行は 110 mm になります。

## 付属品

リモコン ........................................................ 1
リチウム電池（CR2025）....................... 1
オーディオコード ...................................... 1
電源コード .................................................. 1
ACアダプター ............................................ 1
コーションラベル ...................................... 1
保証書 .......................................................... 1
取扱説明書

- 仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

## キャビネットのお手入れについて

通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったあと、汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。
アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

## 結露について

冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部に水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作ができないことがあります。結露の状態にもよりますが、本機を1～2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、動作できるようになります。
夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起こることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

## サービスステーションリスト

サービスステーションへの電話は、裏表紙の修理受付センターでお受けします。
（沖縄県の方は沖縄サービスステーションでお受けします）

●サービスステーションの記載内容は、予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。
また、認定店は、不在の場合もございますので、持ち込み希望のお客様は、修理受付センターにご確認ください。

### ●北海道地区

受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付９：３０～１２：００、１３：００～１８：００（弊社休業日は除く）

| 名称 | FAX | 〒 | 住所 |
|---|---|---|---|
| ☆札幌サービスセンター | FAX 011-611-5694 | 〒064-0822 | 札幌市中央区北２条西20-1-3　クワザワビル |
| 旭川サービス認定店 | FAX 0166-55-7207 | 〒070-0831 | 旭川市旭町１条１丁目438-89 |
| 帯広サービス認定店 | FAX 0155-23-7757 | 〒080-0015 | 帯広市西５条南28丁目1-1 |
| 函館サービス認定店 | FAX 0138-40-6473 | 〒041-0811 | 函館市富岡町2-18-7 |

### ●東北地区

受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付９：３０～１２：００、１３：００～１８：００（弊社休業日は除く）

| 名称 | FAX | 〒 | 住所 |
|---|---|---|---|
| ☆仙台サービスステーション | FAX 022-375-4996 | 〒981-3121 | 仙台市泉区上谷刈石田20 |
| 山形サービス認定店 | FAX 023-615-1627 | 〒990-0023 | 山形市松波1-8-17 |
| 盛岡サービスステーション | FAX 019-659-1895 | 〒020-0051 | 盛岡市下太田下川原153-1 |
| 青森サービス認定店 | FAX 017-735-2438 | 〒030-0821 | 青森市勝田2-16-10 |
| 八戸サービス認定店 | FAX 0178-44-3351 | 〒031-0802 | 八戸市小中野4-3-34 |
| 秋田サービス認定店 | FAX 018-869-7401 | 〒010-0802 | 秋田市外旭川字梶の目346-1 |
| 郡山サービスステーション | FAX 024-934-6566 | 〒963-8861 | 郡山市鶴見坦1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第２ビル |

### ●関東・甲信越地区（１）

受付　月～土　９：３０～１８：００（日・祝・弊社休業日は除く）

| 名称 | FAX | 〒 | 住所 |
|---|---|---|---|
| 世田谷サービスステーション | FAX 03-3419-4234 | 〒155-0032 | 世田谷区代沢4-25-9 |
| 墨田サービスステーション | FAX 03-3621-7610 | 〒130-0011 | 墨田区石原4-27-9　中島ICハイツ1F |
| 城北サービスステーション | FAX 03-3550-3625 | 〒175-0083 | 板橋区徳丸4-11-4 |
| 多摩サービスステーション | FAX 042-524-5947 | 〒190-0003 | 立川市栄町4-18-1　エクセル立川１Ｆ |

### ●関東・甲信越地区（２）

受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付９：３０～１２：００、１３：００～１８：００（弊社休業日は除く）

| 名称 | FAX | 〒 | 住所 |
|---|---|---|---|
| 新潟サービスステーション | FAX 025-241-1879 | 〒950-0913 | 新潟市鐙1-5-23 |
| 佐渡サービス指定店　横山電機商会 | FAX 0259-63-3400 | 〒952-1209 | 佐渡市金井町千種1158-1 |
| ☆千葉サービスセンター | FAX 043-207-2555 | 〒263-0015 | 千葉市稲毛区作草部1369-1　椎の実ハイツ1F |
| つくばサービス認定店 | FAX 0298-58-1369 | 〒305-0045 | つくば市梅園2-2-6 |
| 水戸サービス認定店 | FAX 029-248-1306 | 〒310-0844 | 水戸市住吉町307-4 |
| ☆埼玉サービスセンター | FAX 048-651-8030 | 〒331-0812 | さいたま市北区宮原町1-310-1 |
| 川越サービス認定店 | FAX 049-233-6581 | 〒350-0804 | 川越市下広谷1128-11 |
| 宇都宮サービス認定店 | FAX 028-657-5882 | 〒321-0912 | 宇都宮市石井町3373-1 |
| 群馬サービス認定店 | FAX 0270-22-1859 | 〒372-0801 | 伊勢崎市宮子町1191-17　パサージュ808伊勢崎101号 |
| ☆神奈川サービスセンター | FAX 045-943-3788 | 〒224-0037 | 横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎 |
| 横浜北サービス認定店 | FAX 045-943-3155 | 〒224-0036 | 横浜市都筑区勝田南1-19-17 |
| 厚木サービス認定店 | FAX 046-224-7724 | 〒243-0807 | 厚木市金田339-1　金田コーポフロンテア201 |
| 三宅島サービス指定店　勝見電機 | TEL 04994-6-1246 | 〒100-1211 | 三宅村大字坪田 |
| 松本サービスステーション | FAX 0263-48-2768 | 〒390-0852 | 松本市大字島立180-5 |
| 長野サービス認定店 | FAX 026-229-5250 | 〒380-0935 | 長野市中御所1-24 |
| 甲府サービス認定店 | FAX 055-228-8003 | 〒400-0035 | 甲府市飯田4-9-14 |

### ●中部地区

受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付９：３０～１２：００、１３：００～１８：００（弊社休業日は除く）

| 名称 | FAX | 〒 | 住所 |
|---|---|---|---|
| ☆名古屋サービスセンター | FAX 052-532-1148 | 〒451-0063 | 名古屋市西区押切2-8-18 |
| 津サービス認定店 | FAX 059-213-6712 | 〒514-0821 | 津市垂水522-5 |
| 岡崎サービス認定店 | FAX 0564-33-7080 | 〒444-0931 | 岡崎市大和町字荒田36-1　大和ビレッジ　B-1 |
| 岐阜サービス認定店 | FAX 058-274-5256 | 〒500-8356 | 岐阜市六条江東1-1-3 |
| 静岡サービスステーション | FAX 054-237-5691 | 〒422-8034 | 静岡市高松1-6-5 |
| 沼津サービス認定店 | FAX 0559-21-9050 | 〒410-0058 | 沼津市沼北町1-14-26 |
| 浜松サービス認定店 | FAX 053-422-1401 | 〒435-0042 | 浜松市篠ヶ瀬町415　ビラモデルナ５号 |
| 金沢サービスステーション | FAX 076-269-4758 | 〒920-0362 | 金沢市古府１丁目178 |
| 富山サービス認定店 | FAX 076-425-3027 | 〒939-8211 | 富山市二口町1-7-1 |
| 福井サービス認定店 | FAX 0776-27-1768 | 〒910-0001 | 福井市大願寺3-5-9 |

**長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。
こんな症状はありませんか？**

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードにさけめやひび割れがある。
- 電気が入ったり切れたりする。
- 本体から異常な音、熱、臭いがする。

**すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、故障や事故防止のため電気店またはお近くのパイオニアサービスステーションに点検(有料)をご依頼ください。**

| ●関西地区 | | | | 受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休業日は除く）<br>☆拠点は、土曜も受付９：３０～１２：００、１３：００～１８：００（弊社休業日は除く） |
|---|---|---|---|---|
| ☆大阪サービスセンター | FAX | 06-6310-9120 | 〒564-0052 | 吹田市広芝町5-8 |
| 大阪南サービス認定店 | FAX | 0722-75-2625 | 〒593-8322 | 堺市津久野町1-8-15　ローズマンション1F |
| 大阪北サービス認定店 | FAX | 06-6453-5666 | 〒531-0076 | 大阪市北区大淀中3-9-4 |
| 奈良サービス認定店 | FAX | 0742-36-8713 | 〒630-8132 | 奈良市大森西町21-26 |
| 和歌山サービス認定店 | FAX | 0734-46-3026 | 〒641-0021 | 和歌山市和歌浦東3-1-25 |
| 京都サービスステーション | FAX | 075-352-2588 | 〒600-8322 | 京都市下京区西洞院通五条下ル小柳町513-2　五条久保田ビル1F |
| 福知山サービス認定店 | FAX | 0773-24-5375 | 〒620-0055 | 福知山市篠尾新町2-74　カマハチマンション |
| 神戸サービスステーション | FAX | 078-251-7173 | 〒651-0086 | 神戸市中央区磯上通り5-1-13 |
| 姫路サービス認定店 | FAX | 0792-51-2656 | 〒671-0224 | 姫路市別所町佐土4-2 |

| ●中国地区 | | | | 受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休業日は除く）<br>☆拠点は、土曜も受付９：３０～１２：００、１３：００～１８：００（弊社休業日は除く） |
|---|---|---|---|---|
| ☆広島サービスステーション | FAX | 082-248-9939 | 〒730-0041 | 広島市中区小町2-30　第二有楽ビル1F |
| 徳山サービス認定店 | FAX | 0834-33-5759 | 〒745-0006 | 周南市花畠町3-11　森広事務所1F |
| 福山サービス認定店 | FAX | 0849-31-2791 | 〒720-0815 | 福山市野上町3-12-9 |
| 岡山サービスステーション | FAX | 086-244-8748 | 〒700-0975 | 岡山市今8-15-21 |
| 松江サービス認定店 | FAX | 0852-22-7779 | 〒690-0017 | 松江市西津田4-5-40　（有）テクピット内 |
| 鳥取サービス認定店 | FAX | 0857-29-1290 | 〒680-0061 | 鳥取市立川町5-240-1 |

| ●四国地区 | | | | 受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休業日は除く） |
|---|---|---|---|---|
| 高松サービスステーション | FAX | 087-861-4841 | 〒760-0078 | 高松市今里町1-16-1 |
| 徳島サービス認定店 | FAX | 088-669-6076 | 〒770-8023 | 徳島市勝占町中須92-1　大松ジョリカ地下1階103号 |
| 高知サービス認定店 | FAX | 088-802-3321 | 〒780-0051 | 高知市愛宕町3-12-13　晃栄ビル１Ｆ |
| 松山サービス認定店 | FAX | 089-951-6270 | 〒791-8067 | 松山市古三津5-10-35　商船ビル１Ｆ |

| ●九州地区 | | | | 受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休業日は除く）<br>☆拠点は、土曜も受付９：３０～１２：００、１３：００～１８：００（弊社休業日は除く） |
|---|---|---|---|---|
| ☆福岡サービスステーション | FAX | 092-412-7460 | 〒812-0016 | 福岡市博多区博多駅南2-12-3 |
| 博多サービス認定店 | FAX | 092-461-1643 | 〒812-0006 | 福岡市博多区上牟田2-6-7 |
| 長崎サービス認定店 | FAX | 095-849-4606 | 〒852-8145 | 長崎市昭和１丁目12-10　クリスタルハイツ平野 |
| 熊本サービス認定店 | FAX | 096-331-3323 | 〒862-0918 | 熊本市花立５丁目14-17 |
| 大分サービス認定店 | FAX | 097-549-2420 | 〒870-0851 | 大分市大石町５丁目1-1 |
| 北九州サービスステーション | FAX | 093-951-1748 | 〒802-0011 | 北九州市小倉北区重住3-1-20 |
| 鹿児島サービスステーション | FAX | 099-224-7692 | 〒892-0841 | 鹿児島市照国町3-21　第二大見ビル２Ｆ |
| 宮崎サービス認定店 | FAX | 0985-27-3136 | 〒880-0821 | 宮崎市浮城町98-1 |

| ●沖縄地区（沖縄県のみ） | | | | 受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休業日は除く） |
|---|---|---|---|---|
| 沖縄サービスステーション | TEL | 098-879-1910 | 〒901-2122 | 浦添市勢理客4-18-1　トヨタマイカーセンター３Ｆ |
| | FAX | 098-879-1352 | | |

平成１６年５月現在

## 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めるなど、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

音のエチケット

その他

# ご相談窓口　・　修理窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。
なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名 ②ご購入日 ③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

●ホームページ 「商品についてよくあるお問い合わせ」FAQのご案内　http://faq.pioneer.co.jp/faqnavi/piofaq/top/navi.cgi

<下記窓口へのお問い合わせの時のご注意>市外局番「0070」で始まるフリーフォン及び「0120」で始まるフリーダイヤルは、ＰＨＳ、携帯電話などからは、ご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

## 商品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

**カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）**

受付　月曜～金曜 ９：３０～１７：００、土曜・日曜・祝日 ９：３０～１２：００、１３：００～１７：００ （弊社休業日は除く）

●家庭用オーディオ／ビジュアル商品のご相談窓口およびカタログのご請求窓口　フリーフォン ００７０－８００－８１８１－２２
一般電話　【一般電話】０３－５４９６－２９８６

●カタログ請求とメールマガジン登録のご案内　http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html

●ファックス受付　０３－３４９０－５７１８

## 部品のご購入についてのご相談窓口

●部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターへお問い合わせください。

**部品受注センター**

受付　月曜～金曜 ９：３０～１８：００、土曜・日曜・祝日 ９：３０～１２：００、１３：００～１７：００ （弊社休業日は除く）

電話（ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ）０１２０－５－８１０９５　ファックス（ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ）０１２０－５－８１０９６
一般電話　０５３８－４３－１１６１

## 修理についてのご相談窓口

●お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合は、修理受付センターへ（沖縄の方は、沖縄サービスステーションへ）

**修理受付センター（沖縄県を除く全国）**

受付　月曜～金曜 ９：３０～２０：００、土曜・日曜・祝日 ９：３０～１２：００、１３：００～１８：００ （弊社休業日は除く）

電話（ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ）０１２０－５－８１０２８（ゴーパイオニア）　ファックス（ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ）０１２０－５－８１０２９
一般電話　０３－５４９６－２０２３

**沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）**

受付　月曜～金曜 ９：３０～１８：００ （土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

一般電話　０９８－８７９－１９１０　ファックス　０９８－８７９－１３５２

ＶＯＬ．００９



パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<07H00001>　<ARA7256-A>